

桜梅桃李 ~みんなちがってみんないい~

発行日：2021年 4月 14日（水）

対面式の様子



離任式と対面式の1時間、先輩たちはゴソゴソすることもダラ~っとすることもなく、いい姿勢でした。1年生のみんなは緊張もしているし、長時間じっとすることもなかなか慣れていませんがよく頑張っていました。

2時間目のそのあとのHRでは学級組織を決めたり、自己紹介をしたり、いすや机に靴下をはかせたりしました。欠席している人の分まで進んで引き受けたり、床に落ちたごみを自主的に掃除する様子を見て、非常に感心しました。そういった言動によって優しい気持ちがもっともっと育って、42回生に全体に広がってほしいなと感じました。



離任式での先生方の最後のお言葉

堂本校長先生	東中には18年間お世話になりました。今、幼稚園の園長をしています。同じ何かをするなら何事も楽しんでみましょう！
津田先生	たくさん立派な人が世の中に入る。その人からたくさん学ぶことがある。人の話を聞く姿勢というのはとても大切です。
池田先生	新3年生の合唱を特に楽しみにしている。頑張ってください。吹奏楽部員の人たちに特に感謝している。
干潟先生	5年前から比べて自分は大きく変わったと思う。周りの人から教えてもらったことで成長できた。本気になれるときに本気になれることが東中生の良さだと思う。
立花先生	失敗してもいい。その原因は何だったのかを考えることが大切だと思う。
宮崎先生	魚住の土地は温かい雰囲気を持っている。11年間お世話になりました。杉の木の成長は早い。一方でひのきの木は成長は遅い。でもヒノキのようなしっかりと大地に根を張った人になってほしいと思います。
藤原先生	元気、元気すぎる、元気が有り余っている2・3年生へこのような世の中だからこそ、我慢することの大切さを覚えてください。
給食員さん	給食員としての楽しさを教えてくれたのは東中の皆さんです。ありがとうございました。

今までいた職場を去る、また教師生活にピリオドを打つ最後のお話というのは本当に考えさせられる、そして深い話が多いです。直接かかわることのなかった先生がたですが先生たちの言葉から何かを学んでほしいと思って載せました。私たちも頑張っていきたい42回生、そして東中を作っていきましょう！